

P.40~41 確認問題 A・B

P.40 確認問題 A

- (1) classes (2) women (3) pianos (4) libraries

P.41 確認問題 B

- ① (1) ウ (2) イ (3) ア (4) ア

- ② (1) cup (2) pieces[sheets], paper (3) glass (4) few

【解説】

確認問題 A

- (2) 「その店には何人かの女性がいました。」 woman は不規則変化。

- (4) library は y を i にかえて es をつける。

確認問題 B

- ① (1) music 「音楽」, (2) water 「水」, (4) rain 「雨」 は数えられない名詞。

- (2) not much ～ 「あまり多くの～は…ない」 なお, 数えられない名詞は単数扱い(There is ～.)となることにも注意。

〈数量を表す形容詞〉

意味	数	量	数・量
たくさんの	many	much	a lot of
少しの	a few	a little	—
ほとんどない	few	little	—
いくつ[いくら]かの	some, any	some, any	—

- ② (1)・(3) tea と milk は数えられない名詞なので, 「1 杯の～」と言うときは, a cup[glass] of ～で表す。熱い飲み物には cup, 冷たい飲み物には glass を使うことが多い。

- (2) paper は数えられない名詞なので複数形にならない。単位を表す piece[sheet] を複数形にする。

P.42 STEP 1

- 1 (1) × (2) × (3) × (4) ○ (5) × (6) ○ (7) × (8) ○ (9) × (10) ○ (11) × (12) ×
 2 (1) stories (2) cities (3) chairs (4) buses (5) men (6) feet (7) lives (8) children
 (9) heroes (10) cards (11) boxes (12) pianos
 3 (1) countries (2) cats (3) dishes (4) radios (5) women
 4 (1) months (2) pictures[photos] (3) students (4) a few days (5) people

【解説】

- 1 (3) water, (5) tea のような液体は, 容器を単位として数える。

- (7) money 「お金」 は数えられない名詞。

- 2 (5)・(6)・(8) 不規則変化。

- (7) life(命)のように f, fe で終わる語は, f, fe を v にして es をつける。

- (8) child [tʃaɪld] — children [tʃɪldrən] の発音に注意。

- (9)・(12) o で終わる語は, s をつけるものと es をつけるものがある。

- 3 (2)・(4) be 動詞が are なので主語は複数。

- (4) 〈these＋名詞の複数形〉で「これらの～」。

- 4 (4) 〈a few＋名詞の複数形〉で「少しの～」。なお, ここでの前置詞 in は「～の中に」ではなく, 「～たてば, ～後に」という意味。

- (5) people 「人々」 は複数扱い。

- 5** (1) ア, オ, ク, ソ
 (2) イ, エ, キ, コ, サ, シ, セ
 (3) ウ, カ, ケ, ス
- 6** (1) a (2) The (3) a (4) ×, the
 (5) × (6) The (7) × (8) an
- 7** (1) イ (2) ウ (3) ア (4) ウ (5) ア
- 8** (1) breakfast (2) much rain (3) a little (4) July, September

【解説】

- 5** (1)・(2) 単数形の語尾の発音が[s, ʃ, tʃ]以外の無声音のときは[s], [z, ʒ, dʒ]以外の有声音のときは[z]の発音。
 (3) 単数形の語尾の発音が[s, z, ʃ, tʃ, ʒ, dʒ]のときは[ɪz]の発音。
- 6** (2) sun「太陽」, earth「地球」など、この世に1つしかないものにはtheをつける。
 (3) five days a week「週に5日」
 (4) 「スポーツをする」=〈play+スポーツ名〉, 「楽器を弾く」=〈play the+楽器名〉。
 (5) 交通手段を表す〈by+乗り物名〉の乗り物名には冠詞はつかない。
 (6) 前に1度出た名詞を指して「その～」というときにはtheをつける。
 (7) breakfast「朝食」, lunch「昼食」, dinner「夕食」の食事名にはふつう冠詞はつかない。
 (8) There is[are]のあとには不特定の名詞がくるから、the(前に1度出たものにつける)は不適切。
 old computerは母音で始まるので、anを使う。
- 7** (1) coffee, (2) milk, (3) paper, (4) money, (5) waterはいずれも数えられない名詞。
 (2) 前にtwoとあるので、glass(単数形)は不適切。
- 8** (3) juiceは液体だから数えられない名詞。「少しの」という場合はa littleを使う。

P.44 STEP 2

- 1** (1) earth[Earth] (2) lots (3) a (4) years
- 2** (1) (D)ecember (2) (m)oney (3) fun
 (4) (s)eason (5) weather (6) (l)anguage
- 3** (1) aunt (2) much (3) way

【解説】

- 1** (2) lots of ~で「たくさんの～」。
 (3) once a week「週に1回」。このaは「～につき」という意味。
 (4) ~ year(s) old「～歳」はものができてからの年数を表すのにも使う。「創立100年」=「100歳」。
- 2** (1) 「英語で1年の最後の月を何と言いますか。」「12月と言います。」
 (2) 「この日本の茶わんはいかがですか。」「すてきです。でも、今十分なお金を持っていないので買うことはできません。」
 (3) fun「楽しみ」は数えられない名詞。~ is a lot of fun「～はとても楽しい」, have a good time「楽しい時間を過ごす」。
 (4) 「どの季節がいちばん好きですか。」「私たちの町の湖でスケートができるので冬がいちばん好きです。」
 (5) How is the weather in ~?「～の天気はどうか。」
 (6) 「あなたは大学で何語を学びたいですか。」「フランス語を学びたいです。」
- 3** (1) 「私の父の妹[姉]」→「おば」
 (2) 「私たちは毎日あまりたくさんの水を使いません。」 水は数えられない名詞なので「たくさんの～」と1語で表すときはmuchを使う。
 (3) 「私たちはどうすれば博物館へ行けますか。」「博物館へ行く道を私たちに教えてください。」

- 問1 ① students ② friends ③ Japanese
 問2 A オ B イ C ア D ウ E エ
 問3 a an b a c ×
 問4 ① last summer[year] ② great time
 問5 〔例〕 want to learn more about China / am studying Chinese hard

【解説】

- 問1 ① 前に twelve があるから複数形にする。
 ② 主語が we なので friends と複数形にする。
 ③ この Japanese は「日本語」という意味で数えられない名詞。
- 問2 上の豊が書いた文と、下のリーが書いた文とを比べて、同じ内容を述べている文があれば、それを手がかりに考えるとよい。
 A 「日本への5回目の訪問」 リーが6行目で「日本には何回も行ったことがある」と書いている。
 B get a job 「仕事に就く」 He wants to get a job in Japan some day. は6～7行目でリーが書いている、I want to work as an engineer in Japan in the future. の文と対応している。
 C 9～10行目の He is coming to China this summer. と対応している。「中国→彼(=リー)の国」
 E during his stay in China 「彼の中国滞在中に」
- 問3 a engineer は母音で始まるので an。
 c last year の前には冠詞や前置詞はいらない。
- 問4 ① 「豊とリーが初めて会ったのはいつですか。」「彼らは昨年(の夏)に初めて会いました。」 本文1行目、9行目より2人が最初に出会ったのは昨年の夏とわかる。
 ② 「豊は今年の夏に中国を訪れます。そのことについて、リーは何を望んでいますか。」「いっしょにすばらしい時間を過ごすことを望んでいます。」 10行目参照。have a great time 「すばらしい時間を過ごす」
- 問5 文脈に合う英文を考えて書く問題。C に country が入ることから、直前の his country はリーの国である中国とわかる。So I 「だから私は」と続いているので、中国に行くまでにしたいことなどを書くといよい。

《全訳》

昨年の夏、中国から12人の生徒がぼくたちの学校にやってきました。リーはそのうちの1人で、ぼくらはすぐに友達になりました。当時、彼は日本のことをとてもよく知っていて、日本語もとても上手でした。驚いたことに、彼は日本に来たのが5回目だったのです。彼はいつか日本で仕事に就きたいと思っています。

今年の夏、ぼくは彼の国を訪問します。だから、中国についてもっと勉強したいと思います[中国語を一生懸命勉強しています]。

ぼくの名前はリーです。ぼくは日本が好きで、何度も日本に行ったことがあります。将来は日本でエンジニアとして働きたいです。

ぼくには日本人の友達がいいます。彼の名前は豊です。彼は中国にとっても興味をもっています。ぼくは昨年彼の学校を訪問したときに彼に会いました。豊は今年の夏、中国にやってきます。彼の中国滞在中にいっしょにすばらしい時間を過ごせたらと思っています。